



各 位

平成 28 年 7 月 27 日

会 社 名 三菱自動車工業株式会社
代表者名 取締役会長兼取締役社長 CEO 益子 修
コード番号 7211 東証第 1 部
問合せ先 専務執行役員 経営企画本部長
黒井義博
(T e l . 0 3 - 6 8 5 2 - 4 2 0 6)

当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 1 四半期決算（連結・個別）において、下記のとおり特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。あわせて、営業利益を含めた影響額を取り纏めましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失

当社は、平成 29 年 3 月期決算において、約 1,500 億円を特別損失として計上する見込みとお知らせしておりました。詳細は、平成 28 年 6 月 22 日付け「当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う特別損失の見込みについて」をご参照ください。

そのうち、平成 29 年 3 月期第 1 四半期の連結決算において 1,259 億円、個別決算において 1,270 億円を特別損失として計上しました。

なお、第 1 四半期に計上した特別損失額は、お客様へのお支払いなど第 1 四半期末において発生が確定した項目や、発生する可能性の高い項目について見積計算した金額を中心に計上しております。

2. 当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う影響（平成 29 年 3 月期決算）

項目	第 1 四半期 実績 (億円)	6 月 22 日時点 通期見通し (億円)	備考
営業利益への影響	△64	△550	国内販売台数及び部用品販売減、愛車無料点検、国内販売対策費用など
特別損失	△1,259	△1,500	
お客様へのお支払い	△521	△500	
上記以外のお客様 窓口関連	△127	△150	事務局費用、お詫び DM 費用など
販売関連	△386	△400	日産自動車・両社販売会社向けのお支払い、 在庫販売対策費用など
生産・購買関連	△170	△350	サプライヤー向けのお支払い、水島製作所の 一時帰休費用・固定資産減損など
その他	△55	△100	サービスキャンペーン費など
合計	△1,323	△2,050	

お客様へのお支払いにつきまして、第1四半期実績が、通期見通しを21億円上回っておりますが、これは、エコカー減税の差額分の見積もりを精査した結果、追加反映が必要となったためです。当社製車両の燃費試験における不正行為に伴う合計の影響額(2,050億円)の見通しにつきましては、6月22日時点から現時点変更はありません。

なお、平成28年3月期決算に燃費試験関連損失(特別損失)として、191億円を計上しております。

3. 今後の見通し

業績への影響については、本日公表の「平成29年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

以 上